



お江戸松愛

2020年11月 第62号

松愛会 東京都支部
発行人 池田利美
編集人

パナソニック松愛会 東京都支部 支部報 <http://www.shoai.ne.jp/tokyo/>

2020年9月30日現在 支部会員数 752名

副支部長・志村孝子さんの「シニア産業カウンセラー」としての活動をご紹介します

志村孝子さんは、流通研修所時代、販売会社や販売店従業員の研修を担当した際に、人の話を聴くことの大切さを痛感し、25年前産業カウンセラーの資格を取得しました。在職中はカウンセラーとしての活動は行いませんでしたが、京都への単身赴任中も産業カウンセラー協会の関西支部に所属して勉強を続け、定年の1年前からインターンとして活動、定年後東京に戻り本格的なカウンセラーとして、産業カウンセラー養成講座の実技指導者としての活動を行うようになりました。

現在は、上位資格となるシニア産業カウンセラーの資格を取得、産業カウンセラーの資格取得を目指す受講者（医療関係者、福祉関係者、企業の人事、営業、SE、官公庁職員など）の指導にあたり、企業研修、電話相談、メール相談、指導者教育など、人材育成に多くの時間を費やしておられます。受講者は年2回の募集で、現在は東京支部で約400人の受講者を複数のカウンセラーで担



密を避けての企業研修

当していますが、志村さんとしては、既に300人ほどの卒業生を送り出しています。

仕事の楽しさは、受講者と半年以上の関わりとなる中で、いろいろな人との繋がりができるということと、その人の成長を実感できること、そしてその関係は卒業後も続き、卒業生同士の自主勉強会などにも参加しているとのこと。終了時には「志村さんのようにになりたい」と言ってもらえるのも大きな喜びで、実際に既に6人の受講者が実技指導者になっているとのことでした。



受講者への実技指導風景

また、今年は新型コロナウイルスの感染拡大により、年度のスタートが遅れたり、マスク、フェースシールドの着用、殺菌などの感染防止対策など、いろいろとご苦労も多いようですが、松愛会東京都支部の副支部長としての活動に加え、シニア産業カウンセラーとしての活動を通じて、様々な人との繋がりが益々広がっていきそうです。

※「お江戸松愛」では、できるだけ多くの会員の皆様の活動をご紹介します。仕事、趣味、特技、様々な取組みなど、自薦他薦を問いませんので、是非支部までご連絡ください。

東京都支部ホームページ「支部への連絡」よりお願いします。 <https://www.shoai.ne.jp/tokyo/>

支部だより

◆第148回 みちくさ会は降雨中止となりました

10月10日（土）のみちくさ会「豊洲エリア巡り」は、台風14号接近に伴う降雨のため、残念ながら中止となりました。コロナ禍にあって実施できる数少ない行事として、4か月ぶりのみちくさ会を楽しみにされていた方も多かつ

たかもしれませんが、台風の勢いには勝てませんでした。

次回以降のみちくさ会の予定は裏面をご覧ください。



雨の豊洲駅より

◆「お江戸健康ウォーク・奥の細道編」は10ヶ月が経過しました。

1月にスタートしました「お江戸健康ウォーク」は、現在ご家族を含め42名の方に参加いただいています。コロナ禍にあり、また今年は特に猛暑だったり雨が多かったです。なかなか歩数を伸ばしにくい方も多かった中で、既に4名の方は終着地の大垣に到達し2周目に入っています。

今月の会報「松愛」の中で、東京都支部の健康づくり活動のひとつとして紹介させてもらっていますので、是非ご

覧ください。みちくさ会などと違い、健康を意識して自分の都合とペースで歩いた結果が記録として残る活動です。



いつからでも参加することができますので、参加を希望される方は東京都支部までご連絡ください。東京都支部ホームページ「支部への連絡」よりお願いします。

◎「お江戸松愛」も会報「松愛」に合わせて、11月号より奇数月の発行となりました。